

特定障害児通所支援審査基準

大項目	中項目	小項目	審査基準(視点)
①基本事項	制度理解	運営基準の理解	定員と基準人員の配置数を理解しているか
		児発管と管理者について	それぞれ役割が異なることの理解をしているか
		基準人員の資格について	資格取得の要件を理解しているか
		ガイドラインの理解	内容を確認しているか、5領域20項目の視点を持っているか
	運営資金	事業開始後3カ月相当の資金が確保されている	人件費・物件費・リース料等適切な見込みがある
	事業経営	利用見込の有無	利用見込みの根拠、利用予定名簿
		収支見込の有無	収入について利用見込みと乖離していない 支出の見込みが妥当
②運営	設置場所	周りに事業所が無い	小学校区に事業所がない
	人員配置	基準を上回る人員の配置	
		理学療法士や看護職員の配置	療育の目的に沿った配置となっているか
		その他の職員	療育の目的に沿った配置となっているか
③療育内容	対象児	3障がい(知的、精神、身体)	広く対象種別を定めているか
		医療的ケア児、重度心身障害児	対応職員を配置し、どのような療育を行う予定か
		その他(強度行動障害児、不登校児)	対応職員を配置し、どのような療育を行う予定か
	アセスメント	児童の課題やニーズの把握	必要性を理解しているか
		分析指標を備えているか	・専門機関の資料の活用 ・独自の分析指標の有無
	プログラム	アセスメントとプログラムの連動	アセスメントに基づくプログラムがあるか(予定しているか)
			5領域の視点でプログラムを構成しているか
			定期的な評価を行い成長を評価する仕組みを予定しているか
	関係機関	・障害特性に応じたプログラムの準備	発達年齢や生活年齢に応じた教材や遊びの提供を準備できるか
		専門機関(医療機関・児童相談所)との連携	必要性を理解している、具体的な連携方法がわかる
		他事業所との連携、地域ネットワークへの参画	どのように連携するか、しているか
	保護者支援	学校、保育園・幼稚園等との連携	どのように連携するか、しているか
		保護者の学ぶ機会の有無	何を目的に、どのように学ぶ機会をつくるか
		親子や家族同士の交流の場の確保	何を目的に、どのような交流の場をつくるか
		保護者レスパイト支援	保護者レスパイトと療育支援のバランスを考えているか
④職員の質	研修	特別な支援	具体例な支援内容
		研修計画	研修計画がある
	職場環境向上	職員育成計画の有無(資格取得支援)の有無	研修計画がある
		昇給制度有無(キャリアパス)	処遇改善など職場環境、処遇の環境向上を検討している
	障害者の理解について	合理的配慮、障害者差別解消法についての取り組み	事業所での体制整備等の必要性を理解している
		障害者虐待防止法についての取り組み	事業所での体制整備等の必要性を理解している
⑤特記事項	地域活動	地域の役員との連携、地域活動への参加	障がい児や事業の理解を促進する必要性を理解している
		地域でのイベントの企画、企業と連携	障がい児や事業の理解を促進する必要性を理解している
	加算項目	例を見ない取組	
		外部の受け入れの有無、他事業所への見学、	事業所や学生ボランティア等の受入れを行っているか